

## 自己架橋型シリコーンエマルジョン

### アサヒシリコーン ソフナー 330

アサヒシリコーン ソフナー 330 は、反応性を有する自己架橋型のシリコーンエマルジョンです。高重合度シリコーンを主成分としており、アクリル系樹脂、ウレタン系樹脂などの樹脂改質を目的に開発されたエマルジョン型添加剤です。

例えば、顔料捺染用ベースレジンへの添加による柔軟性向上をはじめとして、各種のエマルジョン樹脂・コントロール樹脂への添加剤として樹脂本来の性能を損なう事なく、基材に耐摩耗性・平滑性・柔軟性・撥水性・離型性・タック防止などの特性を付与させることができます。

#### □ 特 長

1. 特殊な方法で造られた均一粒子のミクロンエマルジョンです  
保存安定性、機械安定性、希釈安定性に大変優れています
2. ベースシリコーンの重合度が高いため、耐久性に優れた加工ができます
3. 活性剤の使用量が僅かのため、樹脂本来の性能を損なわず熱処理加工などにも黄変や変色など悪影響を及ぼすことはありません
4. 触媒を併用することにより撥水性が、特に強化されます

\* ASAHI CATALYST AC をご使用してください

#### □ 一般特性

外 観	乳白色液体
主成分	ゴム状ジメチルポリシロキサン
比 重	1.00±0.02
有効成分	35%
pH	中性
イオン性	弱アニオン

#### □ 使用方法

(樹脂改質例)

樹脂の種類、用途により異なりますが、樹脂に対して3～5%の添加を標準に使用してください



(柔軟加工例)

アサヒシリコンソフナー 330 を水で 1～3% に希釈し、パッド法で処理してください。処理後、乾燥をおこない、150℃にて 1～2 分の熱処理をおこなうと耐久性が向上し十分な効力を発揮します。

(触媒併用の使用例)

恒久性撥水加工剤としての使用

アサヒシリコンソフナー 330 を恒久撥水剤として使用する場合には、カタリスト AC を使用します。カタリスト AC を使用する場合には、処理浴の PH が 5～6 になるように酢酸で調整することが、必要です。カタリスト AC : 有機金属塩水溶液

【使用例】

アクリル樹脂にて、コーティングされたナイロンタフタの恒久撥水加工

標準使用量

アサヒシリコンソフナー 330	3.0%
カタリスト AC	2.0
氷酢酸	0.01
水	94.99
	100

加工条件

Pad (室温) Pick up (60%) → 乾燥 (100℃) → (150℃ x 1 分)

上記、条件にて加工されたアクリルコーティングのナイロンタフタに対して、次の撥水性、耐久性が得られます。

洗濯条件 (家庭用洗濯機使用)

合成洗剤	2 g/L	} L-5 とする
浴比	1 : 50	
温度 x 時間	40 度 x 50 分	
すすぎ	5 分	

JIS-L-1092 (スプレー法)

洗濯前	L-5	L-10	L-15	L-20
100	100	90	90	80

使用上の注意

アサヒシリコンソフナー 330 は、水分が揮発した状態で高重合のシリコンゴム状となりますので貯蔵は、冷暗所で行い必ず密栓して下さい。

触媒併用する場合、希釈濃度に調整してから触媒を添加して下さい